

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

梅雨明けが待ちこがれ、いよいよ夏本番になってまいりました。会員の皆様には日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、6月20日（金）に君津市民文化ホールにて、千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会並びに定期総会が、多くの来賓の方々や各支部の先生方のご臨席を頂き、盛会のうちに終わりました。君津支部の結束力が遺憾なく発揮された、素晴らしい研究大会になりました。

定期総会から

定期総会では、平成25年度活動報告、決算・会計監査報告、平成26年度活動方針案及び予算案に関する件、役員選出などの報告・議事が進められ、大会宣言により締めくくられました。

本年度の感謝状贈呈者は次の先生方です。（敬称略・順不同）

千葉	山本 嘉則	千葉	加藤 勇	船橋	小野田 芳美	東総	塙 美英
千葉	飯豊 公仁	市原	大野 徳子	船橋	吉村 秀樹	香取	竹内 康弘
香取	大野 功	山武	竹内 光子	長生	中村 明	君津	石井 禎一



作品展から

今年の作品展も、県内より優秀な作品を集め、開催することができました。どの作品も創意工夫を凝らし、素晴らしい作品でしたが、その中で次の作品が全国ものづくり展、関ブロ大会に出展することになりました。

全国ものづくり出展作品（以下、9作品）

- 教育長賞 「技術分野」 清水 英一 『マルチメディアラック』（富津・大貫中）
「家庭分野」 福谷 きり 『エコバッグ』（千葉・朝日ヶ丘中）
- 振興会長賞 「技術分野」 菊原 響（船橋・坪井中） 山崎 彩良（一宮・一宮中）
林 稚菜（千葉・椿森中） 地曳 隼（木更津・清川中）
「家庭分野」 宮下 聖子（千葉・花園中） 宮岸 みか（八街・八街北中）
水野 恵梨菜（佐倉・志津中）



——公開授業から——

公開授業は、「確かな知識と技術を身に付け、社会の変化に対応し、生活に活かす力を育む学習指導のあり方」という千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会・君津支部の研究主題のもと、授業が展開されました。

研究発表後、千葉県教育庁南房総教育事務所 指導主事 清水 善治 先生、植草学園大学 教授 佐藤 文子 先生よりご指導、ご講評を頂きました。



技術分野（エネルギー変換に関する技術）



家庭分野（食生活と自立、身近な消費生活と環境）



技術分野＜授業者 金井 裕弥先生（木更津市立金田中学校）、岡本 誠士先生（君津市立周西中学校）＞

技術分野では、回路の設計・製作にユニットカードとユニット教材を用いて、作品に工夫・創造が加えられるような教材・教具の工夫が提案された。当日の授業では、生徒役を各支部の先生方をお願いして授業展開され、製作品の使用目的や使用条件を明確にし、電源と負荷を選択することができるようにユニットカードを使ってグループで構想を練った。多種多様な教具が用意され、とても興味深い授業であった。

家庭分野＜授業者 勝畑 路子 先生（木更津市立第二中学校）＞

家庭分野では、環境に配慮した調理の方法を考えるという小題材で授業展開がされた。東京ガス 千葉支社の方々がゲストティーチャーとして迎え、エコクッキングの観点から日々の日常生活につなげていこうとする授業であった。食育、社会の変化に対応、持続可能な社会へと、今日的なテーマに合致しているものであり、自分と社会とのつながりをしっかりともち、社会と連帯感をもたせる興味深いテーマであった。

——記念講演 「ものづくり 人づくり 会社づくり

——料理人の立場から—— 陳 建一 氏 ——

ここ数年は全国・関ブロ千葉大会が行われた関係で記念講演は行われていませんでしたが、今年久しぶりに記念講演が実施されました。料理研究家の 陳建一 氏を講師に迎え、自らの生い立ちから料理人になったいきさつ、父親のことから始まり、経営者としての視点からの人づくり、会社づくりの話がされました。ユーモアたっぷりのご講演で、会場は爆笑の渦に巻き込まれました。



——お知らせ——

☆ 関ブロ群馬大会が平成26年11月20日（木）・21日（金）に行われます。また、全日本、中国・四国地区大会が平成26年11月13日（木）・14日（金）に徳島で開催されます。ご案内など詳細は後日送付されますが、より多くの先生方のご参加をお願いいたします。

☆ 第11回千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが11月15日（土）に千葉県総合教育センターで開催されます。本年度も多くの学校の参加をよろしくお願いいたします。

——編集後記——

今年も多くの先生方のご協力により、部会だより第一号を発行することができました。今後も年3回の部会だよりを発行し、各地の作品展や研究大会などのお知らせをしたいと思います。本年度も、よろしくお願いいたします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部 千葉市立打瀬中学校 北島 啓行》

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

——第11回千葉県中学校創造ものづくり教育フェアから——

11月15日（土）に県総合教育センターにて千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。当日は、多数のご来賓をお迎えし、盛大に競技が行われました。会場には早朝より多数の生徒・保護者が来場し賑わいました。なお、詳細についてはGI☆KA CHIBA Web ページもご覧ください。

〈それぞれの部門の結果〉 (敬称略)

「ものづくり」部門 — 木工の技 ☆上位大会はなし

- 1位 横芝町立光中学校 三鷹 星晃 (県知事賞)
 2位 成田市立久住中学校 井出 夏暉 (木材振興会長賞)
 3位 横芝町立光中学校 斉藤 春樹 (木材振興会長賞)



「ものづくり」部門—アイデアバッグ

☆上位2名が関東大会に出場

- 1位 いすみ市立大原中学校 吉野 真実 (県知事賞)
 2位 市原市立辰巳台中学校 斉藤 亜美 (県会長賞)
 3位 千葉大学教育学部附属中学校 下谷 明里 (県会長賞)



「ものづくり」部門—お弁当コンクール ☆第1位が全国推薦へ

- 1位 (県知事賞) 市原市立市原中学校 (吹原 梨奈・影井 歩美・鈴木 美裕)
 2位 (県会長賞) 勝浦市立勝浦北中学校 (堀込 茉凜・吉野 千智・関 春華)
 3位 (県会長賞) 千葉市立幕張中学校 (笠 美鈴・荒井 美玖・谷口 舞佳)
 [キッコーマンおいしい記憶賞] 勝浦市立北中学校 (深井 忠宏・塩田 大空)
 [学校給食会理事長賞] 四街道市立四街道中学校 (清水 麻衣・村田 ななえ・前 日向子)
 [審査員特別賞] 勝浦市立北中学校 (伊丹 恵梨佳・畔田 玲菜・石川 美月)
 [東京ガス エコ・クッキング賞] 千葉市立蘇我中学校 (岸田 愛美・宍倉 茉佑・川名 千登勢)

「ロボットコンテスト」部門 ☆各部門1位、2位、特別賞、出場権決定戦勝者の4チームが関東大会出場。

ロボコン大賞 習志野市立第一中学校 "TSUBASA" (県知事賞・応用部門)

授業内部門 1位 一宮町立一宮中学校 "一宮A" (関東大会出場)

2位 一宮町立一宮中学校 "一宮B" (関東大会出場)

特別賞 千葉大学教育学部附属中学校 "生徒会執行部" (関東大会出場)

開催県枠 一宮町立一宮中学校 "一宮中" (関東大会出場)

応用部門 1位 千葉市立おゆみ野南中学校 "Dark Phoenix" (関東大会出場)

2位 千葉市立おゆみ野南中学校 "KST" (関東大会出場)

特別賞 成田市立中台中学校 "月読" (関東大会出場)

開催県枠 習志野市立第一中学校 "疾風" (関東大会出場)



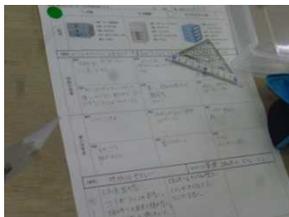
〈木工の技、アイデアバッグ、お弁当コンクールの各1位の作品とロボットコンテストの様子〉

——第53回全日本中学校技術・家庭科研究大会 徳島大会より——

11月12日（水）～14日（金）にかけて、全日本中学校技術・家庭科研究大会が研究主題、「様々な問題と向き合い、解決する力を育む技術・家庭科教育」—『深く考える授業』の創造—のもと、徳島県で8分科会に分かれて開催されました。全体会では、前年度開催県の千葉大会運営委員長の山本 嘉則先生（前千葉市立蘇我中学校長）が表彰されました。

——第1分科会の様子——

当日の授業は、材料と加工に関する技術の適切な評価・活用を考えさせる授業でした。この分野最後のまとめの授業で、使用目的・使用条件を踏まえた製品を選択し、その後廃棄する場面等を設定条件として、経済的・環境的側面から再検討することにより、適切な技術を生徒が評価するものでした。



——第4分科会の様子——

2つのセンサが同時使用可能な独自開発ロボットカーを用いて、計測・制御の基本的な仕組みを学習し、目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫する授業が行われました。当日の授業では、フローチャートを用いて自分の考えを整理し、話し合い活動などで言語活動を充実される授業展開がされました。



——全国大会作品展より——



——関ブロ・群馬大会の作品展より——

——編集後記——

第2号は、千葉県中学校創造ものづくりフェア、全日本徳島大会・関ブロ群馬大会の内容を掲載しました。第3号では、各地の作品展や本年度の活動内容、来年度の研究計画などを掲載したいと考えております。新しい情報やご意見などありましたら、広報部までお知らせいただければ幸いです。

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより No 3

技術・家庭科教育部会 広報部

——平成26年度の活動を振り返って——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会 会長 松岡 和美

昨年度の10月に開催しました第52回全日本中学校技術・家庭科研究大会千葉大会では多くの先生方のご協力、ご支援により、全体会並びに各分科会が盛会裏に終了できましたことを心から感謝申し上げます。今年度は、昨年度の全体会並びに各分科会で提案、協議された内容をさらに深め、県下各地にその成果を広めていただく年であったと思います。本部会のテーマにもありますように、「確かな知識と技術を身につけ、社会の変化に対応し、生活に活かす力」を身につけた生徒の育成をすることが本教科の目的です。様々な内容の学習を通してそうした力を実践的・体験的な場面を通して身につけていくことが本教科の責務であると考えます。そういう成果を発表する場の一つとして、「県中学生創造のもづくり教育フェア」があります。今年は、「創造アイデアロボットコンテスト」、「めざせ！木工の技チャンピオン」「あなたのためのおべんとうコンクール」、「豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール」の4部門に延べ308名の生徒が参加し、日ごろの学習の成果を発表することができました。11月15日に千葉県総合教育センターで開催した本審査に出場した生徒たちは、日頃鍛えた技術を惜しむことなく発揮し、素晴らしい作品を仕上げてくださいました。また、12月7日には第15回関東甲信越地区中学生創造のもづくり教育フェアが10年ぶりに千葉県の開催となり、流山市生涯学習センターで関東甲信越地区一都九県から多くの生徒が参加して開催できました。本県からもアイデアロボットコンテスト部門や豊かな生活を創るアイデアバッグコンクールにエントリーし、千葉県の代表として頑張ってくださいました。役員の方や東葛地区の先生方の協力の下、成功裏に終了することができ、感謝申し上げます。さらに、1月24日、25日には第15回全国中学生創造のもづくり教育フェアが東京の新木場を中心に開催されました。本県からは、生徒作品コンクール、創造アイデアロボットコンテスト、あなたのためのおべんとうコンクール、豊かな生活を創るアイデアバッグコンクールの4部門にエントリーしました。競技種目では、日頃の成果を十分に発揮して競技に臨む姿が印象に残りました。生徒作品コンクールでは、全日本中学校技術・家庭科会長賞、アイデアバッグコンテストでは、見事、文部科学大臣賞を受賞し、千葉県の代表生徒のレベルの高さを全国にアピールできました。

これもひとえに、現場で熱心に指導をしていただいている先生方のお蔭であると感じています。

昨年11月20日には文部科学大臣から中央教育審議会に次期学習指導要領の改訂に向けて、「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」の諮問が出されました。その冒頭の諮問理由の中に、「基礎的な知識・技能を習得するとともに、実社会や実生活の中でそれらを活用しながら、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究し、学びの成果等を表現し、更に実践に生かしていくようにすることが重要である」と述べています。これは正に本教科が長い間実践してきたことであり、また、本県が取り組んできた研究と合致するものだと思います。私たち技術・家庭科を教える教員は、日々の実践を通して、上記の考え方や取り組みが身につけているものと考えます。本教科の指導を通して、多くの生徒たちが将来のための「生きる力」を身につけてくれることを心から願っています。

また、それぞれの教育現場で様々な工夫をしながら教育実践に携わっていただいている先生方に敬意を表するとともに、益々のご活躍を祈念申し上げます。

——第15回全国中学生創造ものづくり教育フェアより——

平成27年1月24日（土）、25日（日）の両日、東京都の江東区新木場タワー、木材会館、女子栄養大学駒込キャンパスの3つを会場として、全国中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。県の素晴らしい上位作品が出品され、どの作品も「製作者の熱い思い」が感じられるものでした。

※ 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール (受賞者氏名 敬称略)
文部科学大臣賞 市原市立辰巳台中学校 3年 齋藤 亜美

※ 生徒作品コンクール
全日本中学校技術・家庭科研究会長賞 木更津市立清川中学校 3年 地曳 隼
作品名 「マルチ電源防災ラジオ」



～コメント～

災害時の状態に必要な条件を選んで防災ラジオやその回路が構成されています。全体のコストを考慮してCDケースや廃材を利用するなどの工夫も素晴らしいことです。

来年度は、おべんとうコンクールが担当県になるので、家庭科担当だけでなく、本部会全体で企画・運営をしていく必要があります。皆様のご協力を是非、頂ければと思います。

——木工作品展にて——

平成27年2月27日（金）～28日（土）にかけて、千葉市にある複合施設 Qiball（きぼーる）にて木工作品展（主催 千葉県木材振興協会）が開催されました。



——編集後記——

今年度も県の技・家だよりを皆様のご協力を頂き、第3号を発行することができました。今回は、松岡会長からの原稿、全国中学校創造ものづくりフェア、木工作品展の作品を掲載させて頂きました。次年度も、各支部の作品展や関東・甲信越大会や全国大会に関する記事を掲載していきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部

(千葉市立打瀬中学校 北島 啓行)